



東京金山会通信 No.76



◀こちらから東京金山会のページにアクセスできます

金山の落花生を首都圏へ！ JR東日本 PRESENTS 「わたしの地元マルシェ～やまがた～」に出店

6月20日から6月22日まで新宿駅構内で開催された、JR東日本 PRESENTS 「わたしの地元マルシェ～やまがた～」に金山町農事組合法人いずむが出店、売場運営はNPO法人MOYAが支援し、地元産の落花生製品を販売しました。

当日は山形県のマスコットキャラ「きてけろくん」や、JR東日本新庄統括センターの応援社員、東京金山会の有志も駆けつけ、町内外が一体となったPR活動となりました。会場では「ピーナッツ」と多くの驚きの声や金山町が株式会社でん六向けのピーナッツの一大供給産地であることを伝えると、「へえー」と関心を持っていただけました。また、お客様からは「味がしっかりしていて美味しい」と多くの声をいただき、それは金山町の土がしっかりとっているからこそだと説明すると、とても納得していただけました。特に人気だったピーナッツペーストとしぼりは早々に完売。試食されたお客様の9割以上が「美味しいと笑顔で話してくださり、売れ行きも好調でした。」

「とても香ばしくて美味しい」「金山町に行ってみた」という声を沢山いただき、町の魅力を伝える貴重な機会となりました。

これからも町・地域団体・関係者が力を合わせ、金山町の味を届けていきます。ご来場・応援くださった皆さま誠にありがとうございました。



①



②

①左から県のマスコットキャラクター「きてけろくん」、NPO法人MOYA いわかわ まゆみ 岩川真由美さん、あおやぎえいし 青柳栄一さん、はんだ かずあき 飯田和昭さん

②来場者に商品の説明をする、いずむ青柳栄一さん(左)

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山善夫 ☎080-5525-0435 mail: fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

森の子ども図書

No.235



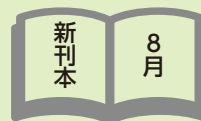
学校はなふしぎ

作：斉藤洋

夜に学校に行っちゃはいけません。もし行くと…？お馴染みの「学校の怪談」に加え、ギョッとする恐い話から、時にはホッと笑ってしまう話まで暖急自在の展開が、恐いもの見たさの子どもたちを惹きつけます。不気味さと同時にどこかユーモラスな絵も必見。

交流サロンぽすと

月～金 12時30分～17時30分まで
※祝・盆・正月は休み



※() 内作者名

／今月は6冊！／

しふく弁当ききみみ堂(冬森灯)／サトウさんの友達(益田ミリ)／おだんごどん(ガタロー☆マン)
大人も知らないみのまわり謎大全(ネルノダイスキ)／すいちゃんはいそがしい(てんてん・こどもの視点ラボ)
逃亡者は北へ向かう(柚月裕子)

図書室だより

【図書コーナー】 金山町中央公民館内 9時～17時

逃亡者は北へ向かう

柚月裕子／新潮社

山形市在住作家・柚月裕子さんが、東日本大震災後を舞台にしたミステリーを随筆。震災直後に殺人を犯し、死刑を覚悟しながらも、ある人物を探すため姿を消した青年。刑事は津波で娘を失いながらも容疑者を追う。実際に震災で家族を失った著者の、今作に込めた思いとは。

サトウさんの友達

益田ミリ／マガジンハウス

職場の居心地、母の健康問題など多くの葛藤を抱えながら日々を送っているサトウさん。ニンテンドースイッチ用ソフト「あつまれどうぶつの森」に出会って、新しい人間関係を築いていくストーリー。慌ただしい生活に埋もれている小さな幸せに気づかされる一冊。



プロジェクトの成果と今後の展望について



◀映画「ミルクの中のイワナ」

金山町 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊 池田 達哉

皆さんこんにちは。有屋の「いわなや」の事業承継を行っていた協力隊の3年目池田です。

今月のコラムは、過日6月28日・29日に行った全国では2例目、山形県内では、「初」となる在来種のイワナを調査し、金山町イワナ未来地図を制作しようというプロジェクトの結果について報告をします。

今回のプロジェクトの趣旨は、金山川本流を中心に、「黒森沢川」「松ケ沢川」「天狗沢」「タカノセ沢」「大滝上流」「中田春木川」「後川」「外沢川」「上谷川」「入田沢川」に、県内外より30名を超える釣り人を集客し、イワナを釣り、そのイワナのあぶら鰭をカットして、遺伝子解析を行います。その結果から金山町に生息するイワナは古来よりこの地に生息する「貴重な在来種」が見つかるのか、そして、河川環境の在り方、次世代の漁協経営の手法、広くは、人間と川と街づくりについて、考えるというものでした。1日目は、映画「ミルクの中のイワナ」の坂本監督を迎えて、イワナを通じて「種を守る」とはどういうことが、地域社会と環境をいかに保全するのかという講和やワークショップを行いました。2日目は、担当河川ごとにチーム



▶金山イワナ未来地図

を編成して、早朝より各支流の最終堰堤を超えて釣り調査を行いました。内容は、魚の写真、体長測定、あぶら鰭カット、河川状況のレポートです。午後からは、釣りあげたイワナの写真を集め、左に掲載している地図を完成させました。12月に遺伝子解析の結果公表、来年には、調査報告をまとめます。身近なイワナから見える金山町の未来を今後考えていきます。

最後に、金山町産業課の皆様、金山町漁業組合様、シエネスハイム金山の皆様、神室ヒュッテの皆様にも多大な支援をいただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。日々の活動は、インスタグラムで配信中です。ぜひご覧ください。

ぶんげい

金山杉俳句会 第五〇一回

夏座敷広々として風が客

「乾杯」とグラスの中で夏はじけ

阿部 一代

郭公のうたも景なり山の湖

夏めく日公開放送鑑定団

星川 キエ子

紫陽花が見頃迎える寺の街
新緑の香に誘わる散歩道

岸 昭子

窓に風蛙なく声聞く夜かな
大正琴の音に時間を委ねし夏末たる

高橋 洋子

紫陽花に鼻緒の緩む庭草履
すかんばや想ひ出尽きぬ散歩道

鶴沼 よし子

薫風や背に苔厚き狍犬ふたつ
籠蜜昼を閑とし身じろがず

栗田 弥超

かねやま紅風会

夏風や町のシンボル山法師
友と逢ふ一寸おめかし夏の旅
香り立つ乙女心の花牡丹

荒屋 阿部 勝子

過ぎし日を偲び懐かし額の花
若竹の伸びる姿や天高く
年若く花散る定めのおををしむ

荒屋 関 喜美子

梅雨深く雷神の音急ぎ足
風爽か野原を飾るあやめ花
夏至の日や真夏の様な汗ぬぐふ

菅越 庄司 けみ子

梅雨空や遠嶺は暗くかすみそり
忍び寄る病氣気付かず梅雨しめり
三坂山見入る出羽富士夏兆す

七日町 青柳 キエ子

梅雨一日杖が頼りの旅めぐり
老ひの身を観音菩薩に願ふ梅雨
朝な夕な我子育てる夏野菜

上台 阿部 一步